

3類型	農林水産物	通巻番号	2 - 22 - 003
地域資源名	比内地鶏	認定日	平成22年9月29日
地域	秋田県鹿角市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：比内地鶏がらを最大限まで有効活用した新製法高濃度スープ等の開発とそれを活用した新商品の販路開拓

会社名：株式会社浅利佐助商店

所在地：秋田県鹿角市花輪字観音堂27-3

連絡先：TEL：0186-23-3127

H P：http://www.fukuzyu.com/

事業概要(新たな活用の視点)

- ・これまで、比内地鶏の鶏がらを活用したスープやめんつゆの開発・販売を行ってきた。しかし、平成20年度をピークに比内地鶏が大幅に減産され、それに伴い鶏がらの供給量も減少している。
- ・こうした背景を受け、これまで廃棄されていたスープ抽出後の鶏がらを再活用した高濃度スープと、高濃度スープ製造後に発生する残渣である骨を再活用した比内地鶏のカルシウムとコラーゲンを含む酢を原料とした商品(つゆ・ぽん酢等)の開発及び販売を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・秋田県比内地鶏ブランド認証制度の認証を受けた比内地鶏のがらを使用する。
- ・比内地鶏がらの供給減少の中でも、比内地鶏スープを活用した商品の大幅な増産や新商品開発を通して、多様なニーズに応えることができる。

市場性

- ・鍋つゆの市場規模は、08～09年シーズンで約180億円と5年前と比べて倍増しているほか、ぽん酢の市場規模は09年で約270億円と3年前に比べて約8%伸びている。
- ・秋田県内の特産品業者は、秋田県の特産品であるきりたんぼや稲庭うどんにさらなる価値を付加するため、比内地鶏スープに対するニーズが高くなっている。

販路

- ・一般消費者向け商品については、各種展示会やアンテナショップ等でマーケティング調査を行う。
- ・秋田県内の飲食店や特産品業者をターゲットに、業務用商品の開発と改良を行いながら、商品提案型営業を行い、さらに、全国規模の外食チェーンへの営業活動を行う。

地域資源における関係事業者との連携

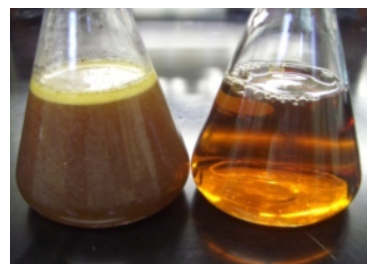
- ・比内地鶏生産農家から各種製品の販売業者まで、比内地鶏に関わる全業者と連携を図る。



比内地鶏



スープ抽出後の鶏がら



抽出後の鶏ガラを再活用した比内地鶏高濃度スープ
(左：スープ原液、右：濾過後スープ)